

**【施策評価調査】**

施策名	2-4-2	「居場所づくり」あそぼうねっとプロジェクト		91	子ども達が地域で様々な交流を行うことで、地域で築き上げてきた文化・技術の伝承ができるたり、子ども達のコミュニケーション能力の向上や思いやりの心の育成を図る。
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	教育部こどもみらい課	担当 リーダー	児童福祉担当 戸井田 和 明		
環境変化					地域で子どもたちが仲間や異世代との交流が図れるよう、地域において様々な活動の機会をつくり出します。そして、社会性を学び、柔軟な感性を育むことができるよう、地域全体が子どもたちの居場所となるように支援していきます。(「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋)

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：昔の遊び体験年間開催回数(回)	平成16年度	計画	5回	12回	15回	20回	30回
		実績	3回	5回	4回		
指標：3世代体験教室年間開催回数(回)	平成16年度	計画	11回	13回	16回	20回	22回
		実績	9回	4回	5回		
指標：自然体験年間開催回数(回)	平成16年度	計画	9回	12回	15回	20回	20回
		実績	11回	10回	7回		
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	294,000	0	848,000		
	決算	321,429	0	660,449		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか?(アウトカム)			
高齢者の居場所づくり事業	当初	0	A	平成20年度は、「町地域福祉活動計画」で主要計画としてあげられている「地域の寄り合い(サロン)づくり事業」を具体的に展開していくために、国庫補助(セーフティネット支援対策事業費補助、平成21・22年度の2ヵ年事業)を申請し、平成21年度から実施する準備を進めました。			
	決算	0		0箇所 / 1箇所	今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)
体験・交流活動事業費	当初	848,000	A	土屋はかせ塾やその他子供向けの体験学習講座を開催することにより、子ども達が地域の大人たちとふれあいを持つことや体験学習することで、子どもたちの居場所を地域に見出せることにつながる。			
	決算	660,449		1,452人 / 2,500人	今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)
	当初						
	決算		/	今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**施策事後評価 20年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	子どもたちの遊び場・居場所づくりについては、次世代育成支援実行委員会や2つの児童館を中心に地域の中で交流会等を実施する事業や生涯学習課が展開している体験・交流活動事業により、子どもたちと地域の人たちとの交流ができました。	子どもたち居場所づくりに次世代育成支援実行委員会の力や生涯学習課が展開している事業などで多くの場の提供がなされましたが、さらに、健康福祉課が展開する高齢者の居場所づくりの事業ともタイアップすることで、子どもたちの交流の場を広げていきたい。
総合評価	■ <b>総合評価</b> ■ 他課で行う事業と連携された施策展開を行っていることと評価する。 ただし、後期計画策定においては、政策との関連性が見えにくいので、当施策傘下事務事業の検証を行い、他課が行っている施策と役割分担や調整を図った上で、他施策との統合も視野に入れた検討を行うこと。	